



国鉄新潟

No.997
発行 2020年2月25日
国鉄労働組合新潟地方本部
発行責任者 清野 聡
編集責任者 教 宣 部

組織強化・拡大へ

全体の発言から

第190回拡大中央委員会が1月25日、10時より交通ビルB1Fで開催しました。
拡大中央委員会では組織強化・拡大の最重要課題、春闘の取組みや職場の労働条件改善についての取組みの報告など全体で14名の委員から発言がありました。

渡辺副委員長の開会あいさつ後、資格審査発表では中央委員28名中27名の出席を確認、委員会が成立しました。
委員の発言内容を中心に編集しました。



第190回国労拡大中央委員会

●組織強化・拡大について 正しさを訴える

○5年ビジョンの取り組み強化。組織拡大は重要な課題だ。組織の整備、単一組織の確立を。東労組の分裂から労働組合は何なのか、労働組合の必要性を感じていないが未加入が続いている。国労運動の正しさを訴えていく。職場代表

●組織状況は平成採と国鉄採と逆転する。全分会長会議を開催し意思統一を図る。一歩前になる運動を取り組んでいく。

○単一組織の大切さを訴える。青年が取組みを積極的に進めている。
●5年ビジョン・新しい執行体制に青年が入って活動している。青年を活動の中心にして取組みを進めていくこと。

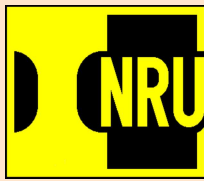
者選挙に立候補し職場で訴えていく、それを拡大に結びつけていく。

第190回拡大中央委員会

具体的な闘いの展開

●2020年度賃金引上げ要求は2月12日(水)に労働条件改善要求と共にJR各社一斉に申し入れる。回答指定日は3月13日を基本とし第一ゾーン(3月10日~13日)第二ゾーン(3月16日~19日)とする。

●統一要求額は2020年4月1日時点における基本給(平均)4%相当額、1万1千円を基本とするベースアップを求める。



●春闘の 取り組みについて

○総理は官制春闘を要請した。ベアは選択肢で賃上げは各社で、同じ方向での統一春闘としていくこと。職場から春闘を構築する。

●19春闘は18年連続ベア0を阻止するため取り組んだがベアは0だった。20春闘は職場からベースアップを求める意見がある。大会での発言から統一要求についてかけ離れている。1000円の要求でも良い。その要求でも期待が持てる1000円になる。統一要求額1万1

千円はとても無理だから行動での統一と考えている。
スト指令を

○貨物との賃金格差など切実な要求がありストライキを要請した。団結でき意統一も図れる。20春闘は4%1万1千円の要求、どうして19春闘より要求額を下げたのか。期末手当も春闘要求に入ったが貨物については示されていない。スト指令を発していくこと。

●20春闘は統一要求額で金額が統一できないと統一要求でないと言っているが経営状況など会社間で違っている。要求額について金額にこだわらない。しかし要求は統一闘争と考える。



○統一要求闘争・行動でも統一闘争はできる。金額ではない。黒字であるが経費や株主への配当を増額している。職場から春闘を構築していく。





第190回国労拡大中央委員会

客・貨一体の行動

●19春闘では東海本部は貨物協と共同行動を実施、宣伝行動や集会の開催、デモも取り組んだ。客・貨一体の行動を展開した。貨物は全国的に運動を展開してきたからベアを獲得できたのではないか。北海道、四国は18年連続ベア0、それを打ち破る闘いを展開すること。



○学習会の開催や討論集会を開催した。分散会で議論を深め要求をつくる。賃金要求について意思統一は各

エリアに任せる。ストを打てるか、それは団結強化になるのか。慎重に判断して欲しい。

ストの配置を

●春闘で要求を勝ち取ることで国民から支持される。広く訴え世論を味方にする。ストを配置しながら闘い、行動を共にする。要求を獲得するため本部全体で取り組んでいく。昨年より下げた要求額となった。0ベアを打破できるのか納得できない。全国統一闘争を取り組む。

○20春闘・統一要求額について生要求は3万円以上、ストレートに掲げ



春闘行動について

●2020春闘中央総行動

3月3日

国家議員への要請行動
集会の開催

●地本春闘行動の実施

3月10日

新潟駅前宣伝行動
集会の開催



なくとも交渉単位に要求をゆだねる。北海道、四国の18年連続ベア0を打破するためストを含めた闘いをつくるのも戦術のひとつだ。

1職場1要求めざす

○労働条件の改善・要求は統一要求として取り組む。職場でどう取り組んでいくのか、若い人達の考えを取り入れ拡大につなげる。1職場1要求をめざす。

●金額だけで統一することはできない。会社は当分ベアは無いと言って



いる。同じ目標を目指すことが統一行動だ。来年以降は現実的な要求額にして欲しい。

○現場長への要請行動の実施、分会集会の開催など職場を拠点とした闘い。スト配置は否定しないが一緒に働く社員から支持されること。

●19春闘はストを背景に闘うと言ってきたがストは行使していない、スト戦術を。生要求を踏まえ1万1千円の要求額は納得しない。

●安全問題

自動運転を目指す

○ダイヤ改正から列車本数が削減された。駅が無人化になる。宣伝行動



などで訴えている。地域や政党、労働組合への要請行動など地域の仲間と取組みを進めている。

ワンマン運転について安全安定輸送を訴えている。利用者の状況や運転士の労働条件の調査を取り組む。会社はダイヤ通りの運行を重視し運

賃の取り扱いではなくて良いと回答している。

●九州の現状について、駅の無人化の導入など委託化やホームの無人化、自動運転を目指している。運転士ではなく係員を乗せて試運転している。会社は国交省へ要請している。

編集後記

▼1月があつという間に過ぎて2月も中旬を過ぎようとしています。首都圏など新型コロナウイルスで大変な状況になっています。

感染しないようにと考えていましたがこれから春闘の取組みが予定されています。中央行動も予定されています。本当は東京は行きたくないです。

■秋山郷・栄村は1月は無理だと思つていましたが1月下旬、天気が良かったので行って来ました。雪は全く無かったです。次回の「国鉄新潟」で報告します。

